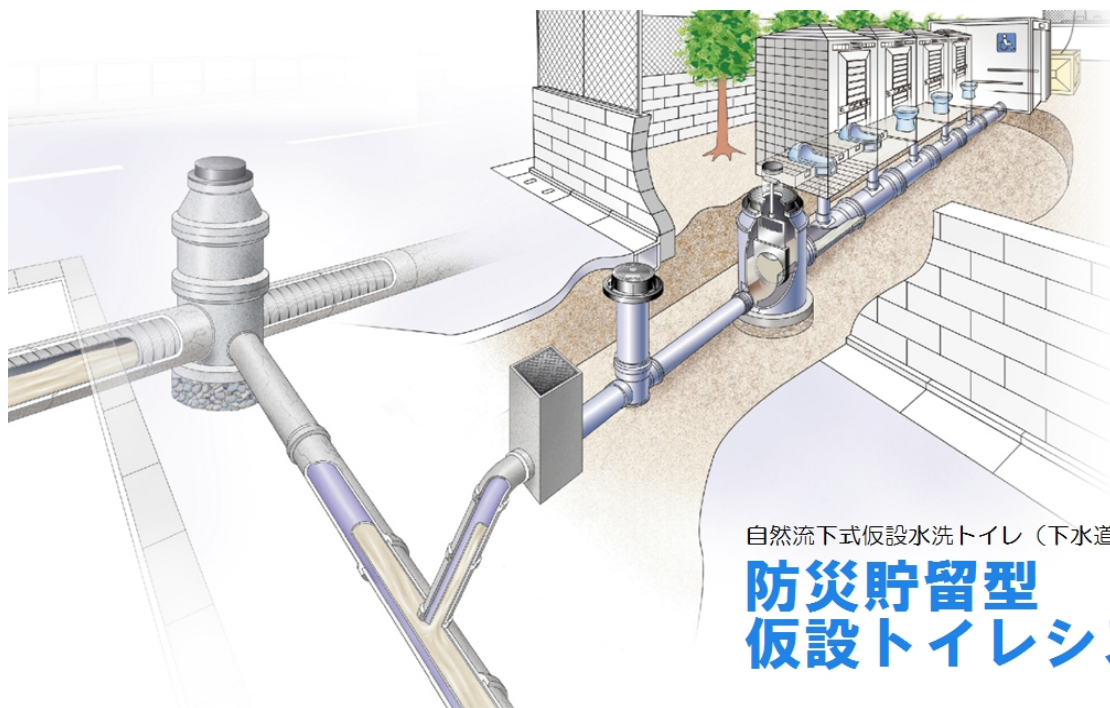




自然流下式仮設水洗トイレ（下水道直結型）

防災貯留型 仮設トイレシステム

地震等の災害時に避難所に集まった人たちの間でトイレは大きな問題となっています。

そこで、センチュリー工業では避難所となる学校や公園に設置する「自然流下式仮設水洗トイレ（下水道直結型）防災貯留型仮設トイレシステム」を提案いたします。
このトイレシステムは災害時だけではなく、大規模マンションなどの断水発生時にも対応可能です。

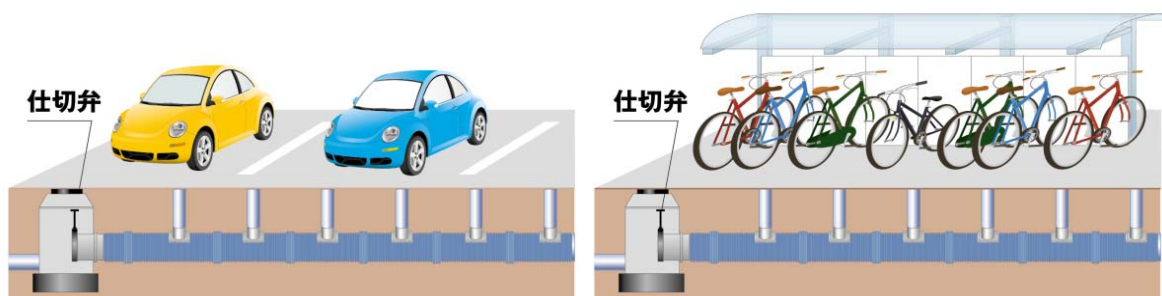


防災貯留型仮設トイレシステムの使用例

あらかじめ設置しておくと言っても、平常時はマンホールの蓋があるだけなので駐車場や駐輪場として有効利用が可能です。

平常時

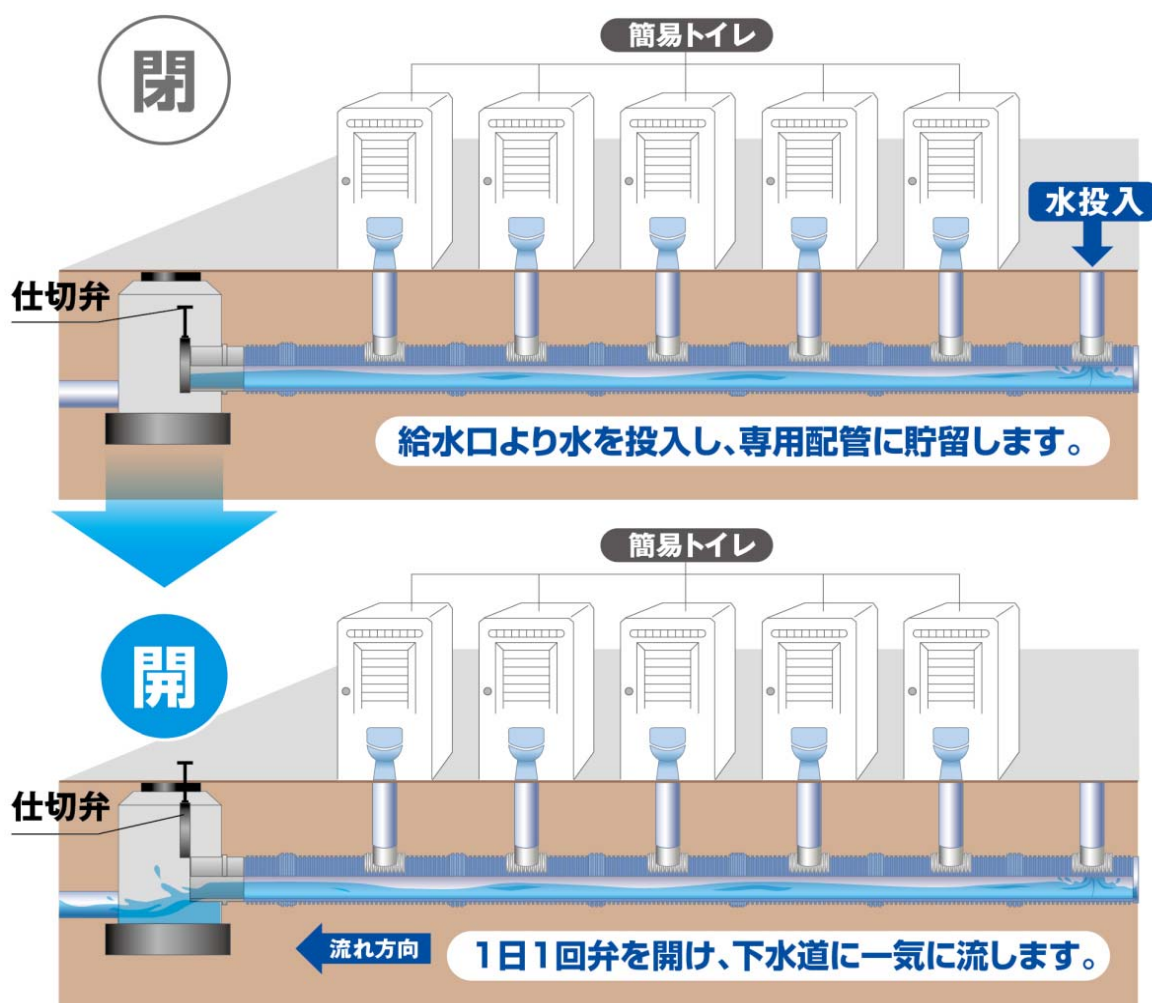
●普段は**駐車場**や**駐輪場**として利用



災害時や緊急時には、設置しておいた仮設トイレ本管のマンホールの蓋を開け、仮設トイレを設置することで使用できるようになります。
使用時には仮設トイレ用本館にプールや地下雨水貯留槽、地下水等から水を貯め、汚物が溜まったら貯留槽の弁を開放して汚水を一気に下水道に流します。

災害時

●仮設トイレを設置します。



防災貯留型仮設トイレシステムの特長

- ・ 公共下水道に直接接続することで、トイレ整備費の縮減が可能。
- ・ 災害時に、流出側の本管が破損しても、し尿を貯留できるため使用可能。
(貯留槽1基で5個の仮設トイレが基本。一式で500人に対応。)
- ・ 使用時に水を貯留することで臭気の発生を抑えることができるため、衛生面・環境面においても優れている。

防災貯留型仮設トイレシステムの設置

貯留槽1基で5個の仮設トイレが基本です。
管路にリブ付き硬化塩ビ管を使うことで液状化による浮上防止対策も万全です。

工事前



工事完了



仮設トイレ用下水管の設置工事



耐震用塩ビ管の設置

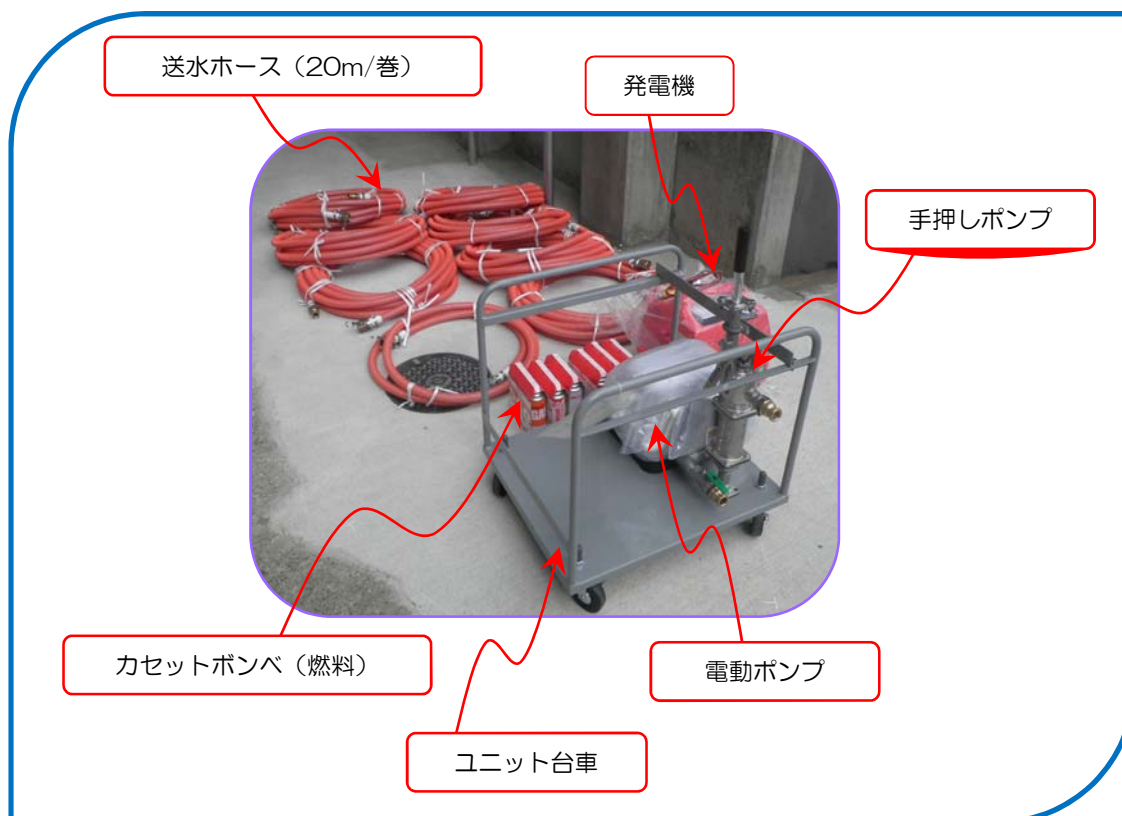


立ち上がり管の設置（仮設トイレ設置個所）



マンホール蓋の設置

防災貯留型仮設トイレシステム用給水ポンプユニット



トイレ下水管への注水

